

100 ^{ねんさき}年先へつなぐ、^{みず}水のバトン



令和8年4月末現在

水^{みず}のバトン

朝起きて顔を洗うとき、夕食の準備をするとき、蛇口をひねれば当たり前に出てくる水。

この当たり前前を、100年先の子どもの代まで絶やさずにつないでいくために配水池の整備を進めています。

私たちの生活を支えてきた現在の配水池は、建設から67年が経過しました。長年、休むことなく水を蓄え続けてきましたが、施設の老朽化が進んでいます。

今回の整備では、最新の耐震技術を取り入れ、大きな地震が起きても壊れない「災害に強い配水池」へと生まれ変わります。

配水池の整備は、目に見えにくく地道なインフラ工事です。しかし、蛇口をひねれば当たり前に出てくる水を次世代へ届ける「水のバトン」です。私たちは、責任を持って、未来へつないでいきます。



東配水池の急階段



現在の城山東配水池